気仙沼・南三陸だより

第 ４５ 号　令和６年１月
発行：気仙沼地方振興事務所

気仙沼管内の話題や宮城県公所が取り組んだ事業を定期的に紹介します。

スマイルサポーター感謝状贈呈式を開催しました（気仙沼土木事務所）

県では、県が管理する道路・河川・海岸・港湾において、清掃や除草、花壇への植栽などの活動を定期的に行い、良好な環境づくりに積極的に取り組むボランティア団体や企業等をスマイルサポーターとして認定し、市町村と協力して必要な支援を行っています。

気仙沼土木事務所管内では道路２４団体、河川１０団体、海岸３団体、港湾１団体の計３８団体に活動していただいております。当事務所管内で活動するスマイルサポーター３団体に対し、長年に渡る美化活動への感謝の意を表して、令和６年１０月１５日に県から感謝状を贈呈しました。

【令和６年度被表彰団体】（敬称略）

イオン東北株式会社イオン気仙沼店（気仙沼市）、株式会社橋本店（仙台市）、仙建工業株式会社（仙台市）

活動の様子
（株式会社橋本店様）

活動の様子
（仙建工業株式会社様）

贈呈式集合写真

「ANA こころの森プロジェクト」森林づくり表彰受賞！！

（気仙沼地方振興事務所林業振興部）

県では、森林づくりや木材利用に対する県民等の参加及び理解の促進を謳った、「みやぎ森と緑の県民条例」に基づき、森林づくりや林業木材産業の振興に関して功績のあった団体等に、森林・林業功労者表彰を行っており、今年度の森林づくり部門で、南三陸町で長年活動している「ANA ホールディングス株式会社（以下「ANA」）」が、受賞されました。

ANA では、南三陸町入谷地区に約１０ヘクタールの森林を借り受け、復興支援と環境保全を目的とした「ANA こころの森プロジェクト」を平成２４年７月より実施しています。このプロジェクトでは、年２回（延べ１１０７名）、全国の ANA グループ社員が、間伐作業や作業道整備などの森林保全ボランティア活動を行うほか、発生した間伐材を木製ノベルティなど地元の工場で商品化・販売する取組を行っています。これらの取組は震災後、間もないころより、毎年、継続して行われ、森林整備のみでなく、間伐材による商品製作で地域の雇用創出にも寄与しています。

受賞式

活動状況（集合）

活動状況（枝打ち）

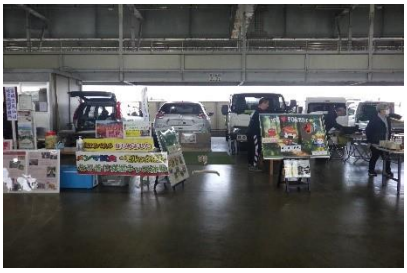
気仙沼市産業まつりで林業 PR ブース出展しました

（気仙沼地方振興事務所林業振興部）

令和６年１０月２７日（日）に第３８回気仙沼市産業まつりが開催され、当所では「特用林産物の試食（気仙沼産メンマ）」・「なりきり林業キッズコーナー」・「高性能林業機械ミニカー展示」・「モルック体験」等、多岐にわたった PR ブースを設けました。

当日は、気仙沼市産メンマ「特選上つつじメンマ」の試食を行い、「ここでは買えないのか？」といった問い合わせが多数寄せられるなど、たいへん好評でした。

また、木育コーナーでは、昨年度も子供達に大人気だったトイチェーンソーや高性能林業機械ミニカーのほかに、今年度は「モルック体験」を試験的に実施したところ、ルールはシンプルながら奥深いゲーム性に、参加者は夢中になって楽しんでいました。これからも、様々なイベントで林業の PR や試食品の提供をしていきますので、見かけましたら、ぜひ、お立ち寄りください。



林業振興部ブース状況

特選上つつじメンマ

モルック体験

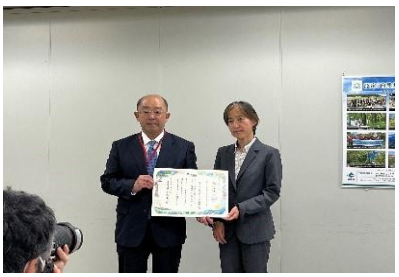
県内４例目！南三陸 FSC 山林が自然共生サイトに認定

（気仙沼地方振興事務所林業振興部）

ネイチャーポジティブの実現に向けた森林の価値の見える化を目的として、南三陸森林管理協議会が管理する FSC 認証林（２，４７１ヘクタール）は、生物多様性の保全が図られている区域と評価され、令和６年１０月２１日に、県内４例目となる「自然共生サイト」に認定されました。

自然共生サイトとは、ネイチャーポジティブの実現に向けた取組の一つとして、企業の森や里地里山、都市の緑地などの身近な自然を対象とし、「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を国（環境省）が認定する制度です。

自然共生サイトでは、生物多様性の価値を８項目に分類しており、南三陸 FSC 認証林において認定された価値は、このうち、６項目と非常に高い評価を受けています。【主な項目として、「公共機関から重要性を既に認定」、「在来種を中心とした健全な生態系」、「希少な動植物の生息」など】



認定書授与

原始的な自然生態系「荒島」

生物多様性が保全された森林

松岩小学校の植林支援について（気仙沼地方振興事務所林業振興部）

気仙沼市立松岩小学校では、５年生（児童数４５名）の総合学習において、「海と森のつながり」を学んでおり、（一社）松岩愛林公益会及び気仙沼市森林組合の協力を受け、同会所有山林において、有限会社早稲谷・菅原苗木店から提供された広葉樹１５０本（クヌギ・コナラ・エノキ）を植林する体験学習が行われました。

当事務所では、森林が持つ機能と山と海とのつながりについて説明するとともに、苗木の植え方のデモンストレーションを交えて、植林作業の支援を行いました。

参加した児童からは、「植樹の他にも自分ができることを継続して自然環境を守っていきたい」など、今回の植林を通じて、森林に土砂崩れを防ぐ役割があることや、山と海のつながりを感じていたようでした。今後も森林づくりなどに関する普及推進活動をより積極的に行っていきます。

作業前ミーティング

植林状況①

植林状況②

森森フェスタ 2024 in YASSE 秋 Ver（気仙沼地方振興事務所林業振興部）

真夏の林業イベントとして山の日（８月１１日）の開催が定着していた、ＮＰＯ法人リアスの森応援隊が主催する森森（もりもり）フェスタですが、昨今の気温上昇にともない、参加者の安全面を考慮し、今年度は真夏のイベントから秋のイベントとして１１月３日（日）に開催されました。

開催場所は今年度も「森森フェスタ２０２４ in YASSE」として気仙沼市旧月立小学校及び周辺山林で開催されました。

当イベントでは親子木工教室やチェーンソー薪割り体験、林業機械への試乗体験などの体験型ブースの他に、旧月立小学校校舎で食べる八瀬学校そばなどイベントは大盛況でした。

なお、当所でもブースを設け、ドローン操縦体験、気仙沼管内産きのこの試食コーナー（しいたけの唐揚げ）、なりきり林業キッズコーナー、モルック体験のほかに、気仙沼管内にゆかりのあるご当地キャラクターが勢揃いした顔はめパネルの設置も行い、沢山の参加者にはまっていただきました。現在、宮城県気仙沼合同庁舎内に常設中ですので見かけましたらぜひはまらいん！

ドローン操縦体験

椎茸のからあげ試食

ご当地キャラ顔はめパネル

『気仙沼・南三陸物産フェア』を開催（気仙沼地方振興事務所水産漁港部）

水産加工業者の首都圏に向けた販路確保・拡大を支援するため、令和６年１０月２６日～２８日の３日間、イトーヨーカドー木場店（東京都江東区）において、気仙沼市、南三陸町、㈱イトーヨーカ堂と共催した水産加工品等販売促進会『気仙沼・南三陸物産フェア』を開催しました。

期間中、気仙沼市・南三陸町の水産加工業者等１６社がブースを設け、かつお、さんま、めかじきなどの鮮魚や、各社自慢のいか塩辛などの水産加工品を求めるお客様で賑わいました。また、むすび丸と気仙沼住みます芸人の「けせんぬまペイ！」さんによるじゃんけん大会により会場は大盛り上がりとなりました。

各社が用意した商品は初日から売り切れの品も出るほど大盛況で、気仙沼・南三陸地域のおいしい水産加工品を東京の消費者に PR することができました。

物産フェア催事場

むすび丸じゃんけん大会

気仙沼・南三陸物産フェア

気仙沼市・南三陸町ミライフ（未来＋ライフ）ツアーを開催しました！

（気仙沼地方振興事務所地方振興部）

令和６年１１月２２日～２４日の２泊３日の日程で移住希望者を対象とした移住ツアーを気仙沼市と南三陸町で開催し、ツアーには首都圏に在住する 14 名の方が参加しました。

先輩移住者との交流では、地域おこし協力隊として活躍している方や、起業してワイナリーを経営している方などから、移住を決めた理由や、地域の魅力などを伺いました。参加者からは、移住で苦労したことや、実際の生活環境などについて質問が挙がり、活発な情報交換が行われました。

さらに、空き家においてリノベーション事業を行う企業の取組を伺ったほか、地域のスーパーマーケットで買い物をして、移住後の生活環境のイメージを確認しました。

今回ツアーに参加された皆さんとまた気仙沼・南三陸で会えることを楽しみにしながら、県としても引き続き交流人口の創出・移住へ繋がるよう取り組んで行きます！

株式会社カネダイ様による空き家事業のお話

古民家をリノベしたカフェの様子

南三陸ワイナリー醸造所見学の様子